

英語（リスニング）[分析]

第1日程と同様に、第3問以降の読み上げ回数が1回で、出題形式が多岐にわたった。

第1日程と同様に、読み上げ回数が第1問と第2問では2回、読み上げ回数や読み取るべき図表の多い第3問以降では1回だった。なお、リスニングの配点はセンター試験の50点から100点に変更され、リーディングと同等に扱われることになった。

難易度（【第1日程(1月16日・17日)】との比較）

やや難

第1日程と比較して、第4問で聴き取りの難しい比較表現や計算が必要な問題が出題されたことや、第5問で受験生にはあまりなじみがないだろうテーマが出題されたことで、やや難しくなった。

出題分量（【第1日程(1月16日・17日)】との比較）

マーク数、配点は第1日程と同じ。読み上げられた英文の総語数は1,526語（第1日程では1,528語）。質問・選択肢の総語数は530語（第1日程では571語）。

出題傾向分析（【第1日程(1月16日・17日)】との比較）

センター試験では音声を正確に聴き取り、聴き取った情報を他の表現に言い換える力や、選択肢を素早く読み取り、情報を整理するスキルが求められていた。共通テストではこれに加え、第1日程と同様、図表やワークシートなどを正しく読み取り、聴き取った情報と重ね合わせて判断する力が求められた。また、第2日程では計算が必要な問題が出題された。

2021年度【第2日程(1月30日・31日)】フレーム

大問	分野	配点	マーク数	読み上げ回数
第1問	A 短文発話内容一致問題	25	4	2
	B 短文発話イラスト選択問題		3	
第2問	対話文イラスト選択問題	16	4	2
第3問	対話文質問選択問題	18	6	1
第4問	A モノログ型図表完成問題	12	8	1
	B モノログ型質問選択問題		1	
第5問	モノログ型長文ワークシート完成・選択問題	15	7	1
第6問	A 対話文質問選択問題	14	2	1
	B 会話長文意見・図表選択問題		2	
合計		100	37	

2021年度【第1日程(1月16日・17日)】フレーム

大問	分野	配点	マーク数	読み上げ回数
第1問	A 短文発話内容一致問題	25	4	2
	B 短文発話イラスト選択問題		3	
第2問	対話文イラスト選択問題	16	4	2
第3問	対話文質問選択問題	18	6	1
第4問	A モノログ型図表完成問題	12	8	1
	B モノログ型質問選択問題		1	
第5問	モノログ型長文ワークシート完成・選択問題	15	7	1
第6問	A 対話文質問選択問題	14	2	1
	B 会話長文意見・図表選択問題		2	
合計		100	37	

設問別分析

第1問

A：短い発話を聴き取り、発話内容と最も合っている選択肢を選ぶ問題。発話内容を1文で言い換えたり、1つの発話内容から状況を把握し、含意関係を考えたり、状況を1文で要約したりすることで、聞こえてくる発話内容を把握する力が問われた。問2では、ネクタイの色と単数・複数について問われたが、読み上げ文の代名詞 ones を正しく聴き取れず、only に気を取られて①の選択肢を選んでしまった受験生もいただろう。  
B：短い発話を聴き取り、発話内容に最もよく合っている絵を選ぶ問題。音声を通して語彙の正確な理解が問われており、発話内容の概要を把握する力が求められた。問7では、not as ~ as... の比較表現を正しく理解する必要がある。

第2問

短い対話とそれについての問いを聴き取り、その答えとして最も適切なイラストを選ぶ問題。場面の情報とイラストを参考にして、必要な情報を把握する力が問われた。それぞれの場面状況が日本語で記されている分、聴き取りにおける状況把握の負担が軽減されている。

第3問

短い対話を聴き取り、問いの答えとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。日本語で書かれた対話の場面を参考にして、概要や要点を目的に応じて把握する力が問われた。問14では、車の色についての夫婦の会話を聴き取る問題が出題されたが、女性の発話で blue, black, dark green, white と複数の色が登場したため、男性の発話の I like both the blue one and the black one. や、女性の発話の Do you mean... を正しく聴き取って、正しい解答を選ぶ必要がある。

第4問

A：読み上げられる説明を聴き取り、図表を見ながら空所を埋めていく問題。問18~21では比較表現を正しく聴き取る必要がある問題が出題され、問22~25では計算が必要な問題が出題された。また、「選択肢は2回以上使ってもかまいません。」という指示文があるが、2回以上使用する選択肢はなかった。  
B：4人の説明を聴き取り、問いの答えとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。複数の情報を聴き取り、その情報を比較検討しながら、取捨選択する力が問われた。複数の国の話者による読み上げであった。

第5問

生態系 (ecosystem) 保全についての講義を聴き取り、問いの答えとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。ノートテイキングをしながらワークシートを完成させたり、講義で聴き取った内容とグラフから読み取れる情報を組み合わせたりして、要点を把握する必要がある。第1日程と同様、第2回試行調査で出題された計算が必要な問題は出題されず、問28~31では、「選択肢は2回以上使ってもかまいません。」という指示文があるが、2回以上使用する選択肢はなかった。

第6問

A：手紙を書くことについての2人の会話を聴き取り、問いの答えとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。発話全体から、話者の発話の要点を把握する力が問われた。  
B：選挙の投票に行くことについての4人の会話を聴き取り、問いの答えとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。それぞれの話者が選挙の投票に行くことについて積極的か消極的かを判断する力と、意見に合う図表を判断する力が問われた。問37では、会話を踏まえて Helen の意見を最もよく表している図表を選ぶ問題が出題されたが、Helen の発言が少なかつたため、少ない情報量で判断する必要がある。複数の国の話者による読み上げであった。

## 過去平均点の推移

21年度※ 【第1日程】 (1月16日・17日)	20年度	19年度	18年度	17年度
56.2	28.8	31.4	22.7	28.1

※2021年度の平均点は1/22 大学入試センター発表の中間集計その2の平均点です。

※2020年度までの平均点は50点満点、2021年度の平均点は100点満点で掲載しています。